取扱説明書

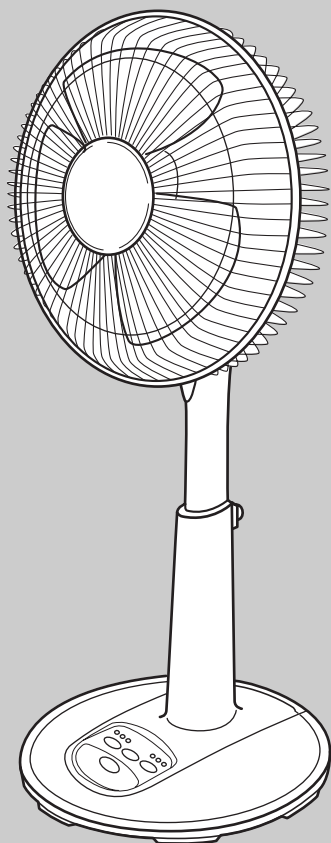
HITACHI

日立扇風機　リビング扇

H-M351E形

このたびは日立扇風機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
組み立てかた	5
各部のなまえとはたらき	7
上手な使いかた	9
お手入れと保管のしかた	9
故障かなと思ったら	11
仕様	11
保証とアフターサービス	11

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

 分解禁止	**改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理を行わない** ●火災・感電・けがの原因になります。
 電源プラグを抜く	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない** ●感電やけがをすることがあります。
 水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしない** ●ショート・感電・発火の恐れがあります。
 禁止	**羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない** ●モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
 禁止	**羽根、ガードをつけずに運転しない** ●モーターが回転し、けがの原因になります。
 禁止	**組み立てや取り外しの際は、電源プラグを差し込まない** ●感電やけがの原因になります。

⚠ 警　告

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、束ねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない

●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

交流100V以外では使用しない

●火災・感電の原因になります。

⚠ 注　意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

●感電やショートして発火することがあります。

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

●羽根やガードが外れ、けがをする恐れがあります。

次の場所では使わない

＊ガスレンジなどの近く
＊引火性ガスのあるところ
＊雨や水しぶきのかかるところ

●炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。

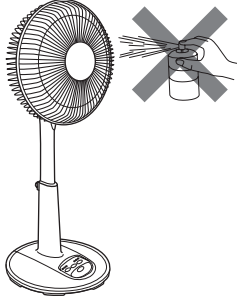
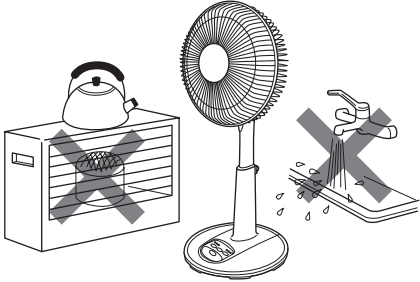
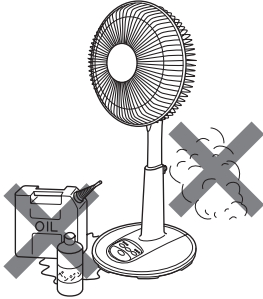
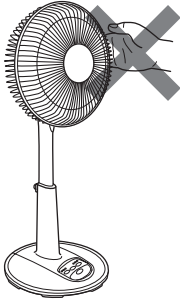
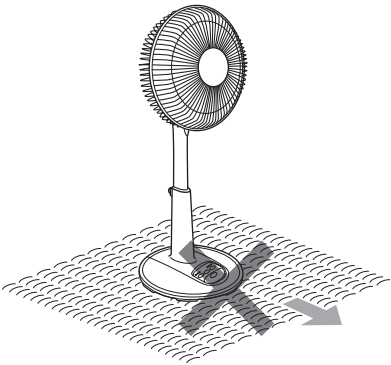
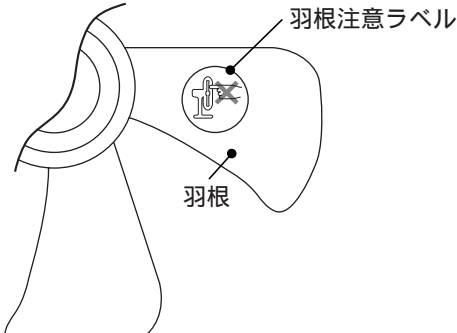
風を長時間、からだにあてない

●健康を害することがあります。

障害物のそばや、不安定な場所では使わない

●転倒によりけがをする恐れがあります。

使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

ガードの中や可動部へ指などを入れない

●けがをする恐れがあります。

使用上のご注意

殺虫剤などをかけたりしない	高温、高湿、水のかかる場所、火気の近くでは使わない
● 変色、破損などの原因になります。	● 変色、変形、感電、故障などの原因になります。
油、ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所では使わない	**横を向いている扇風機を無理に正面に向けない**
● 破損、変形、故障などの原因になります。	● 破損、故障などの恐れがあります。
畳、床面などでベースを引きずらない	**羽根注意ラベルをはがさない**
● 畳、床面などに傷をつける恐れがあります。	● 羽根注意ラベルは、法による表示ですのではがさないでください。 羽根注意ラベル 羽根

組み立てかた

包装箱は保管のときに必要ですので、捨てないでください。

⚠ 警告

禁止

組み立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない

- 感電やけがをすることがあります。

禁止

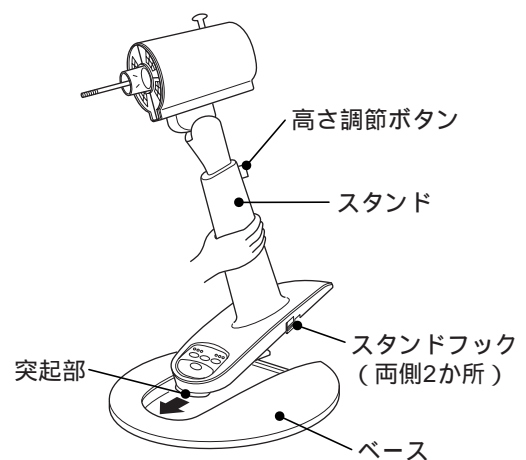
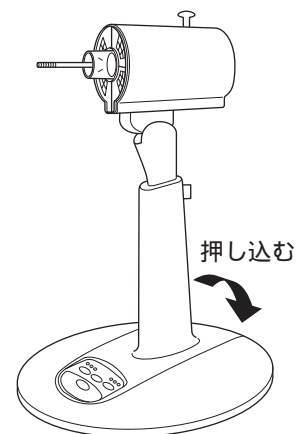
羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない

- モーター部が飛び出して、けがの原因になります。

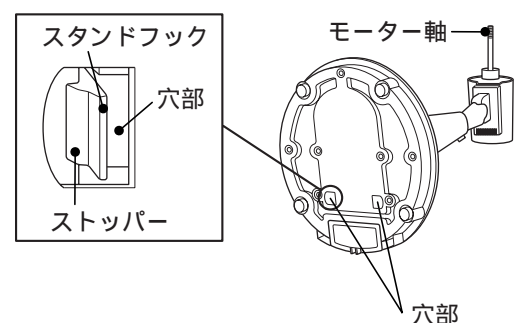
1．ベースにスタンドを取り付けます。

① 安定した場所にベースを置き、スタンド前部にある突起部をベースに差し込みます。

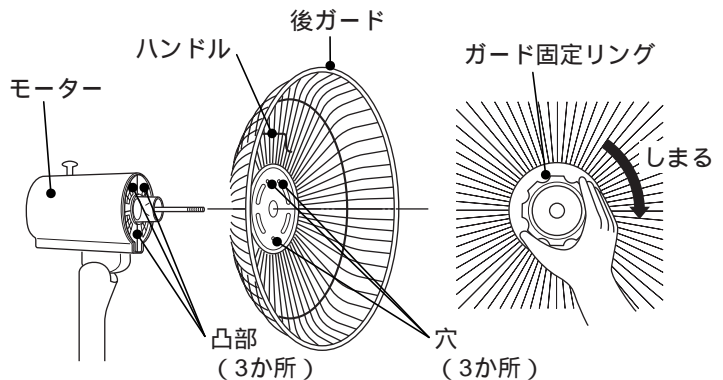
ご注意

- スタンドフックを無理に広げますと、破損の原因になります。

② ベースに「カチッ」と音がするまでスタンドを押し込み、確実にスタンドフックをベースにはめ込みます。

③ モーター軸を上向きに置き、ベース裏側の穴部の中のストッパーにスタンドフックが確実にはめ込まれていることを確認してください。

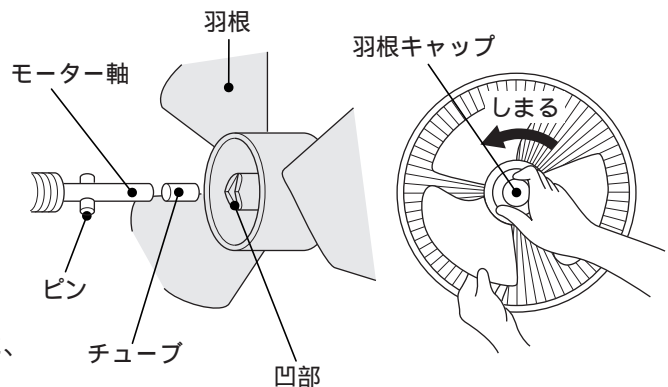
ご注意

- スタンドフックが確実にはめ込まれていませんと、スタンドが外れ転倒や落下などによるけがや破損、故障の原因になります。

組み立てかた(続き)

2．後ガードを取り付けます。

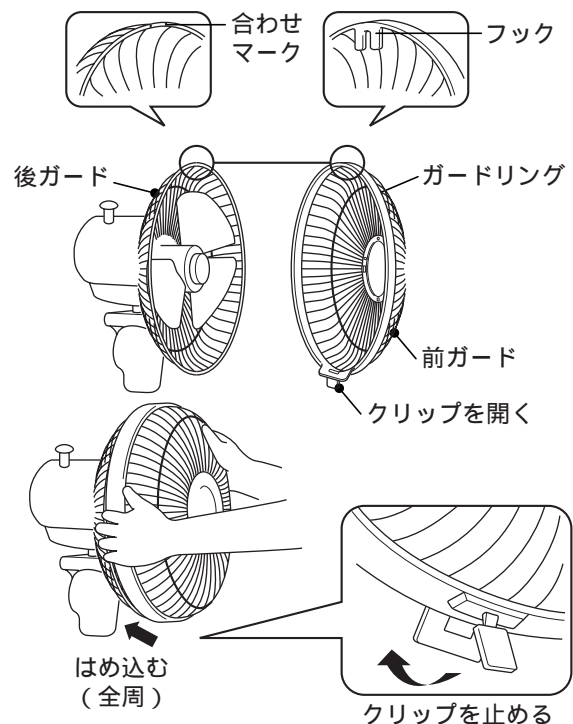
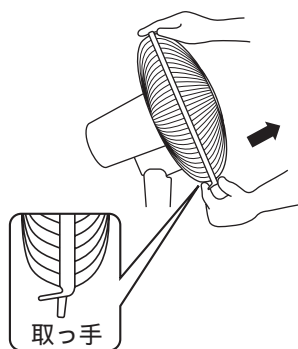
① 後ガードの「ハンドル」を上にして、モーター前面の凸部(3か所)に後ガードの穴(3か所)を差し込みます。
② ガード固定リングを「しまる」の方向に回して確実に締めつけます。

3．羽根を取り付けます。

① モーター軸のチューブを抜き取ります。
●チューブはおしまいになるときに必要です。保管しておいてください。
② モーター軸のピンと羽根の凹部が合うように、羽根をモーター軸に差し込み、羽根を押さえながら羽根キャップを「しまる」の方向に回して、確実に締めつけます。

ご注意
●羽根キャップが確実に締めつけられていないと、羽根が外れてけがをする恐れがあります。

4．前ガードを取り付けます。

① 前ガードについているガードリングのフックを後ガードの合わせマークに合わせて取り付けます。
② 後ガードを押さえ、前ガードを押してガードリングを後ガードに全周はめ込みます。
③ クリップは後ガードをはさみ込むように確実に止めます。

ご注意
●前ガードが確実にはめ込まれていないと、前ガードが外れけがをする恐れがあります。

■前ガードの外しかた
電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからクリップを外し、前ガードを上から押さえてガードリング下の取っ手を手前に引き、下側が外れたら、ガードリングの両脇を外側に広げながら手前に引きます。

各部のなまえとはたらき

首振りつまみ

●押し込むと……首振りを行います。

●引き上げると…首振りが停止します。

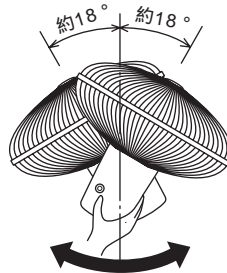
風向調整のしかた

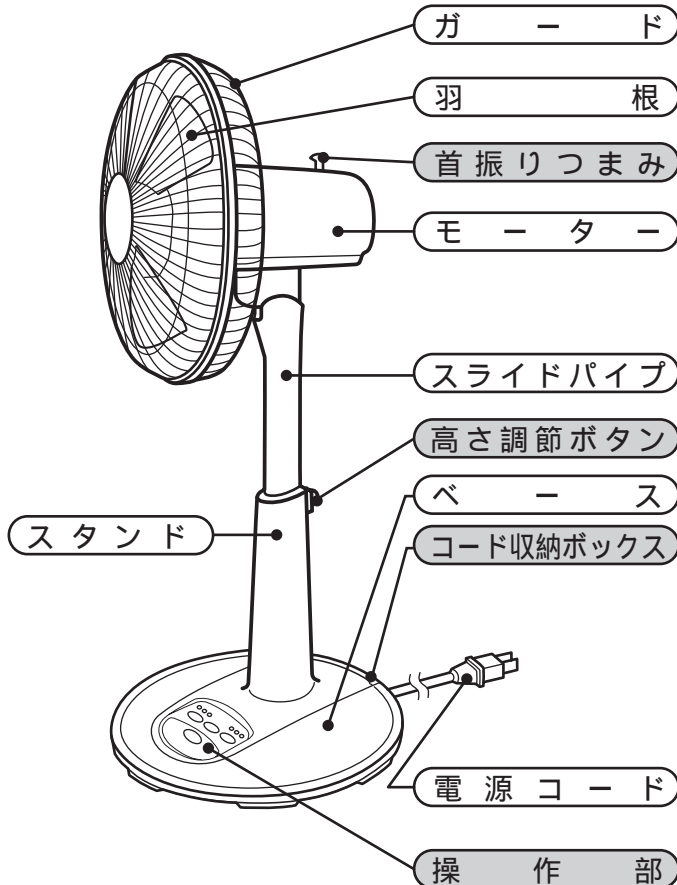
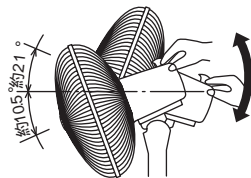
ご注意

● 安全のため、羽根の回転を止めてから、風向きを変えてください。
無理に動かすと故障の原因になります。

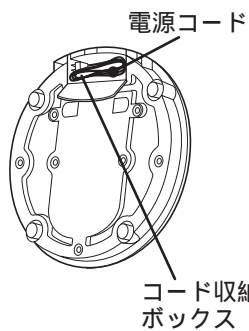
2重首振り

●風向きを左・右に変えたいとき、ベースを片手で押さえ、モーターを持って左・右にゆっくり動かします。

●風向きを変えたとき、首振り角度調節レバーが動く場合があります。

フリーアングル

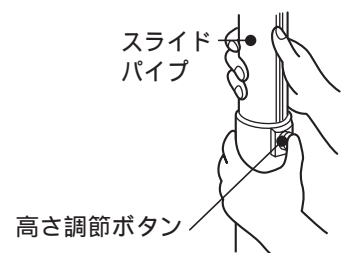
●風向きを上・下に変えたいとき、ベースを片手で押さえ、モーターを持って上・下にゆっくり動かします。

コード収納ボックス

●コード収納ボックスより、電源コードを取り出してください。

●収納するときは、電源コードを小さく束ねて収納してください。

ご注意

● プラグをコード収納ボックス内に確実に収納してください。
不完全な収納の場合は、床面を傷つける原因になります。

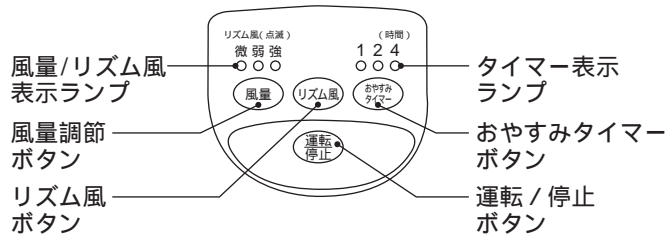
高さ調節ボタン

●一番下から高くする場合は、一度スライドパイプを下に押しつけて、高さ調節ボタンを押しながらスライドパイプを上げ、高さを調節します。調節した位置で止まります。

●スライドパイプは一番下に下げたときのみ固定されます。それ以外の位置では固定できません。

各部のなまえとはたらき(続き)

操作部

リズム風(点滅)　微 弱 強
(時間)　1 2 4
風量　リズム風　おやすみタイマー　運転停止

風量/リズム風表示ランプ
風量調節ボタン
リズム風ボタン
タイマー表示ランプ
おやすみタイマーボタン
運転／停止ボタン

ご注意

運転するときは、最初に「運転／停止ボタン」を押してください。
最初に他のボタンを押しても動作しません。

運転／停止ボタン

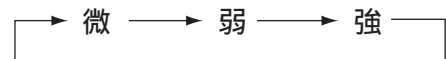
「運転／停止ボタン」を押すと電源が入り、風量「微」で運転します。
もう一度押すと停止します。

メモリー機能

運転を「運転／停止ボタン」の操作で停止させたあと、再び「運転／停止ボタン」を押すと、停止する前の運転状態で運転します。
●タイマー時間はメモリーされません。
●電源プラグを抜いた場合、メモリーは解除されます。

風量調節ボタン

風量調節ボタンを押すごとに、風量が順送りに切り換わります。

→ 微 → 弱 → 強 →(微に戻る)

おやすみタイマーボタン

おやすみタイマーボタンを押すと、タイマー表示ランプが点滅し、時間の経過とともに風量がつぎのように変化していきます。セットした時間が終わると表示ランプが消え、運転が自動的に停止します。

●風量「強」でおやすみタイマーをセットしたとき
セットした時間の約1/3時間ごとに風量が「強」「弱」「微」の順に変化します。

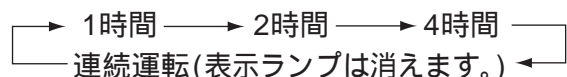
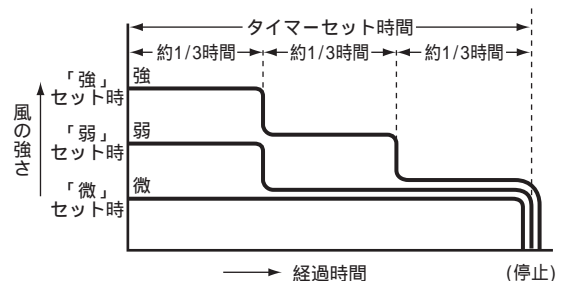
●風量「弱」でおやすみタイマーをセットしたとき
セットした時間の最初の1/3時間は風量「弱」で運転し、残りは「微」で運転します。

●風量「微」でおやすみタイマーをセットしたとき
風量「微」で運転を続けます。

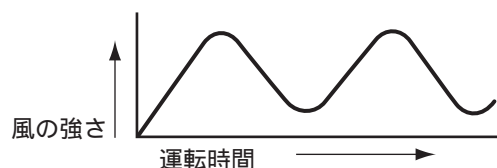
※おやすみタイマーで運転中に風量を切り換えた場合、残りの運転時間は点滅しているタイマー表示ランプ部に示されている時間に再セットされます。運転は時間の経過とともに上記のように変化します。

おやすみタイマーボタンを押すごとに、タイマーセット時間が順送りで切り換わります。
タイマー表示ランプを見ながら押してください。

→ 1時間 → 2時間 → 4時間 → 連続運転(表示ランプは消えます。) →(1時間に戻る)

●時間がたつとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。

リズム風ボタン

リズム風ボタンを押すと、風量表示ランプが点滅し、風量が「強く」「弱く」変化します。もう一度押すと一定の風量になります。

●リズム風運転のときは、運転中の風量/リズム風表示ランプが点滅します。
●微のリズム風は「運転」と「停止」を繰り返していますので、一時的に羽根が止まることもあります。

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、マイコンなどの消費電力により操作部の一部が暖かくなります。長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。
  (運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約1.4Wの電力を消費します)
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。始めから操作をやり直してください。

上手な使いかた

●風の強さを適切に使いわけましょう。
●首振りを利用しましょう………涼感が増します。
●冷暖房時、エアコンなどと併用運転をしましょう………冷暖房効果が増します。

お手入れと保管のしかた

⚠ 警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くまた、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをすることがあります。

羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しない

- けがをする恐れがあります。

スライドパイプを縮めたままお手入れをしない

- 誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをする恐れがあります。

ベースとスタンドなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントに差し込まない

- 感電やけがをすることがあります。

お手入れと保管のしかた(続き)

お手入れのしかた

●ガード、羽根は組み立てと逆の順序で取り外し、汚れは水または中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように十分洗剤を洗い流してください。

ご注意

- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性せっけんなどは使わないでください。
  プラスチックや塗装面が変色したり、破損によりけがをする恐れがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部分に油をつけないでください。変色したり、破損によりけがをする恐れがあります。

保管のしかた

●組み立てと逆の順序で分解し(ベースの外しかたは下図参照)、モーター軸は、よく汚れをふき取ってからうすくミシン油などを塗り、組み立てるときに抜き取ったチューブをかぶせ、お買い求めになったときの包装箱に収納し、湿気の少ないところに保管してください。「収納のしかた」は包装箱の表示を参照してください。

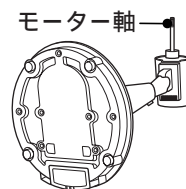
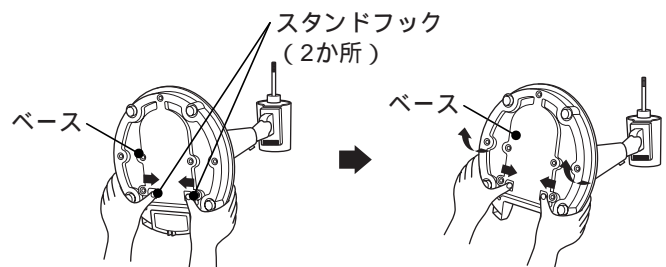
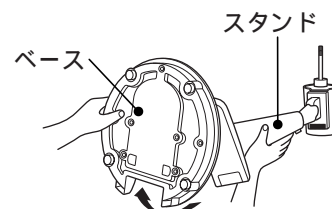
ご注意

- 扇風機が横を向いているときは、無理に戻さず、首振り運転をさせて正面に向けてください。
- 2重首振りの位置は正面に向けてください。
  破損、故障などの恐れがあります。
- 羽根、ガードなどの汚れは「お手入れのしかた」を参照してお手入れを行ったあと保管してください。

ベースの外しかた

① モーター軸を上にして置いてください。

ご注意

- モーター軸を下にしますと不安定になったり、故障の原因になります。

② ベースを支え、スタンドフック2か所を内側に押しながらベースを手前に引き、スタンドフックを外します。

③ スタンドを支え、ベースを静かに持ち上げ外してください。

故障かなと思ったら

次の点検をしてください。

症　　状	点検するところ
羽根が回転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？
「風量」「リズム風」「おやすみタイマー」がセットできない	●「運転／停止」ボタンは押しましたか？
運転中の音が異常に大きい	●羽根はしっかりと取り付けられていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けられていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？

仕　　様

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	定格消費電力 (W)	最大風速 (m/min)	風　量 (m^3/min)	質　量 (kg)	コードの長さ (m)
100	50	38	226	51	5.3	1.9
	60	48	255	58		

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または12ページの「一般ご相談窓口」の担当地域にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

本ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。

保証とアフターサービス（続き）

愛情点検	★長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センターへ**

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

- ご相談窓口の名称、所在地などは変更になることがありますのでご了承ください。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　電話（　　　）　-

ご購入年月日　　平成　　年　　月　　日

株式会社　日立製作所
〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111